

新年をことほぐ

ゆくへ

米川千嘉子



餌台より雀(すずめ)が去りて四十雀(よそ)来るまで零(こぼ)るひかりのことば
「未来(あした)とはいはず「ゆくへ」といふ時代にも水仙(せきせん)のつめたきあたらしき香(か)り

令和七年のゆめ

加藤 治郎



黒豆(くろまめ)のみっしりならぶゆたかさに家族(かぞ)をおもう父母(はは)の居(い)て妹(いもうと)と蜜柑(みつだん)の刺(さ)き方(か)ちがうのはすこしおかし(おかし)くふるまひのゆめ

一人称

水原 紫苑



東京(とうきょう)もパリ(パリ)も寒(か)きを寒(か)月にいのる心を捨て(すて)なむわれか
旅(たび)にして旅(たび)にあらずも月光(げいこう)の及(およ)ぶかぎり(ぎり)はカルチエラタン

チャージ

伊藤 一彦



老いゆけば我(われ)より若(わか)き人(ひと)増えて愉(たの)しからずや今日(けふ)の夏(なつ)も若(わか)ものに八(や)チャーシ(チャーシ)される老人(らうじん)は若(わか)もののため働(はたら)くべきを



米川千嘉子 選

加藤 治郎 選

水原 紫苑 選

伊藤 一彦 選

毎日歌壇

take your marks ーレースからレースまで
磨(あ)げられたキス(キス) 麗(うつく)しき 長岡(ながの)市 三月(さんがつ) とあ
△評(ひょう)▽競泳(けいえい)のスタート台(だい)に立つ鍛(く)え抜(ぬ)かれた身体(てい) その中のアキレス(アキレス)けん(けん)に注(つ)目(め)したのが楽しい。金属(きんぞく)を思(おも)わせる表現(ひょうげん)だ。
鴨(鴨)三(さん)万(万)白(白)鳥(鳥)三(さん)千(千)大(大)山(山)の池(池)に懸(か)へり争(ま)ふことなく
鶴岡(つるおか)市 大沼(おほぬま) 葉子(えこ)

△評(ひょう)▽ラムサール条約(じょうやく)登録(ていじやく)湿地(じ)になっている山形(やまがた)真鶴(まづる)岡(おか)内(うち)の池(池)。結句(けつご)が静(しず)かに響(ひび)く。
久々(くく)に買(か)い物(もの)届け(と)けた息子(いっし)んち(ち)らりと見(み)せた。夫(つま)のまなこし 横濱(よこはま)市 小林(こばやし)貴(き)以(い)子(こ)
ナイロン(ナイロン)のブラ(ブラ)のバック(バック)が好き(す)きだったシャラ(シャラ)ペラ(ペラ)をきて来た(きた) 三(さん)重(じゅう) 中山(なかやま)由(ゆ)子(こ)
手拍子(てびら)子(こ)のうって踊(おど)れば目尻(めじり)から徐(じゆ)々に刺(さ)がれて舞(ま)う付(つ)け唾(つば)毛(も) 川崎(かわさき)市 大平(おほひら)真(ま)理(り)子(こ)
骨董(ぼんとう)の母(はは)に話(わ)りつ(つ)き父(ちち)は「世話(せわ)にな(な)ったね毎日(まいにち)毎日(まいにち)」 東(とう)京(きょう) 東(とう)賢(けん)三(さん)郎(らう)
ボクシング(ボクシング)のこと(こと)は知(し)らね(ね)どシャ(シャ)ャ(ャ)のよ(よ)に効(き)いてる(る)独(ど)り(り)の現(げん)実(じ) 大(だい)阪(はん)市 鈴木(すずき) 雅(みやび)子(こ)
セルフ(セルフ)レシ(レシ)マイ(マイ)ナ(ナ)保(ほ)険(けん)を前(まへ)にシ(シ)ニア(ニア)は(は)この世(よ)を彷彿(ふわふ)って(て)いる 東(とう)京(きょう) 新(にい)美(み)喜(き)代(しろ)男(おとこ)
子育(こども)を評(ひょう)価(か)する(する)こと(こと)吾(われ)子(こ)たち(たち)はわ(わ)れの拘(か)り無(な)く(なく)して(して)歩(あ)む 伊(い)丹(に)市 岡(おか)本(もと) 信(のぶ)子(こ)
レシート(レシート)にブック(ブック)カバ(カバ)ー(ー)二(に)枚(まい)四(よ)円(えん) 冊(冊)数(すう)分(ぶん)をく(く)れた(れた)日(ひ)懐(なつか)し 大(だい)阪(はん)市 山(やま)本(もと) 英(えい)子(こ)

母親(はは)のテレビ(テレビ)体操(たいそう)跳(と)躍(やく)はア(ア)ズ(ズ)して(して)お手(て)本(ほん)より多(おほ)く跳(と)ぶ 大(だい)津(つ)市 佐(さ)々(ざ)木(き)敦(あつ)史(し)
△評(ひょう)▽高(たか)齢(れい)の母(はは)だ(だ)らう(う)。テレビ(テレビ)を(を)見(み)ながらの体操(たいそう)だ(だ)。ス(ス)レ(レ)ても(も)よ(よ)い。お手(て)本(ほん)より多(おほ)く跳(と)ぶ姿(すがた)に生(な)きる力(ちから)と自(みづか)在(ざい)さ(さ)がある(ある)。
家計簿(かけいぼ)と五(ご)年(ねん)日記(にっぴ)と介護(かいご)日記(にっぴ) 夜間(よかん)工(こう)事(じ)の聞(き)こえる部(ぶ)屋(や)で 千(ち)葉(えい)市 佐(さ)藤(とう) 綾(あや)子(こ)
△評(ひょう)▽介護(かいご)日記(にっぴ)が別(わか)に別(わか)にある(ある)。深(こ)い思(おも)いを感じ(かん)じる。夜間(よかん)工(こう)事(じ)に日(にっ)常(じょう)の現(げん)実(じ)感(かん)がある(ある)。
冬(ふゆ)の陽(ひ)にや(や)きた(きた)て(て)パ(パ)ン(ン)のま(ま)ほ(ほ)ろ(ろ)し(し)を や(や)さ(さ)し人(ひと)に(に)ま(ま)た(た)な(な)ら(ら)ない(い)よ 仙(せん)台(だい)市 古(ふる)川(がわ) 終(はつ)兵衛(べいゑ)
病院(びやういん)を出(で)ればま(ま)ま(ま)しい(い)そ(そ)こ(こ)し(し)こ(こ)あなた(あなた)は鳥(とり)な(な)り(り)た(た)い(い)と(と)言(い)う 所(しよ)沢(ざ)市 神(かみ)田(た) 望(のぞ)み
砂(すな)がま(ま)た(た)僅(わずか)か(か)に減(へ)った(た)公園(こうえん)で持(も)て余(あ)して(して)る 過(か)去(こ)を話(わ)した 大(だい)津(つ)市 世(よ)田(た) 夏(なつ)雪(ゆき)
真夜中(まよなか)のキ(キ)ッチン(チン)で(で)しか生(な)き(き)ら(ら)ない(い)あ(あ)のむ(む)る故(こ)郷(きやう) 雲(うん)南(なん)市 熱(あつ)田(た) 一(いち)俊(しゅん)

青(あお)のこ(こ)話(わ)した(した)か(か)った(った) 東(とう)京(きょう) 境(さかい) 千(ち)尋(じゆん)
壊(こわ)れて(て)も直(ただ)せ(せ)な(な)く(く)も(も)た(た)いた(いた)ら(ら)わ(わ)ら(ら)う(う)って 冷(ひや)えた(た)耳(みみ)の切(き)り離(はな)された(た)よう(よう)な(な)孤(こ)独(ど)を(を)癒(な)す ヒ(ヒ)ー(ー)ター(ター)の熱(ねつ)
山(やま)形(がた)市 新(にい)道(みち)百(ひゃく)合(ごう)子(こ)
強(か)かり(り)な(な)あ(あ)なた(た)の(の)声(こゑ)は(は)と(と)め(め)ど(ど)なく(なく)電(でん)話(わ)の向(むか)う(う)に(に)降(ふ)っ(つ)て(て)る(る)雨(あめ) 武(ぶ)蔵(ざう)野(の)市 北(きた)谷(や) 雪(ゆき)
早(はや)朝(あさ)の水(みづ)辺(べ)で(で)ふ(ふ)いに(に)心(こゝろ)か(か)ら(ら)こ(こ)ぼ(ぼ)れた(た)雪(ゆき)は 海(うみ)へ(へ)と(と)向(むか)う 四(よ)万(まん)十(じゅう)市 佐(さ)竹(たけ) 紫(むらさ)菜(な) 円(えん)

赤(あか)い目(め)が銀(ぎん)の山(やま)々(々)か(か)き(き)わ(わ)けて(て)大(だい)雪(ゆき)野(の)原(げん)と(と)びは(は)ね(ね)ま(ま)わる 京(きょう)都(と)市 森(もり)田(た) 誠(まこと)生(せい)
△評(ひょう)▽赤(あか)い目(め)は(は)何(なに)か(か)。ウ(ウ)サ(サ)ギ(ギ)の(の)よう(よう)だ(だ)が、太(た)陽(やう)の(の)よ(よ)う(う)でも(も)あ(あ)り、全(ぜん)く(く)未(み)知(ち)の(の)何(なに)か(か)も(も)し(し)れ(れ)な(な)い(い)。
こ(こ)も(も)れ(れ)び(び)を(を)踏(ふ)んだ(だ)途(と)端(たん)に(に)こ(こ)も(も)れ(れ)び(び)の(の)豹(ひょう)柄(がら)が(が)全(ぜん)身(しん)に(に)乗(の)り(り)移(うつ)る 甲(こう)府(ふ)市 村(むら)田(た) 一(いち)広(ひろ)
△評(ひょう)▽こ(こ)も(も)れ(れ)び(び)は(は)ヒ(ヒ)ョ(ョ)ウ(ウ)だ(だ)った(た)か(か)。つ(つ)きあ(あ)い(い)に(に)く(く)い(い)は(は)ず(ず)だ(だ)ら(ら)ぬ(ぬ)。

蛇(へび)口(くち)から(から)落(お)ち(ち)た(た)が(が)ら(ら)ない(い)水(みづ)滴(た)は(は)燃(も)然(ぜん)と(と)した 世(よ)界(かい)を(を)夢(ゆめ)見(み)た 丸(まる)幌(ほろ)市 橋(はし) 晃(あきら)弘(ひろ)
こ(こ)の(の)町(まち)の(の)ど(ど)こ(こ)も(も)あ(あ)ま(ま)ね(ね)く(く)泳(およ)ぎ(ぎ)る(る)夜(よ)春(はる)の(の)光(ひかり)し 言(い)わ(わ)な(な)く(く)て(て)い(い)い(い)こ(こ)を(を)言(い)った(た)帰(かえ)り(り)道(みち)こ(こ)ん(こん)な 声(こゑ)な(な)ら(ら)人(ひと)魚(い)に(に)あ(あ)げ(あ)げ(あ)る 東(とう)京(きょう) 遠(とほ)野(の) 鈴(すず) 鈴(すず)
わ(わ)が(が)顔(かほ)に(に)出(で)た(た)る(る)黒(くろ)き(き)紋(もん)章(しやう)が(が)北(きた)へ(へ)と(と)求(もと)む(む)る(る)故(こ)郷(きやう) 雲(うん)南(なん)市 熱(あつ)田(た) 一(いち)俊(しゅん)
振(ふ)り向(む)く(く)な(な)い(い)ま(ま)の(の)背(せ)中(ちゆう)の(の)ぬ(ぬ)く(く)も(も)り(り)は(は)眼(まなこ)を(を)刺(さ)して(て)く(く)る(る)天(てん)体(たい)の(の)息(いき) 四(よ)日(にっ)市(し)市 早(はや)川(がわ) 和(わ)博(はく)
血(ち)の(の)気(き)が(が)引(ひ)いて(て)い(い)く(く)ら(ら)満(み)ち(ち)も(も)い(い)く(く)で(で)しょう 鉄(てつ)の(の)匂(におい)の(の)豊(ゆたか)かな(かな)歌(うた) 川(がわ)崎(さき)市 二(に)宮(みや) 珊(さん)瑚(こ)
手(て)の(の)ひ(ひ)ら(ら)を(を)開(ひ)ければ(ば)光(ひかり)を(を)失(うしな)った(た)娘(むすめ)み(み)たい(たい)な(な)私(わたし) の(の)言葉(ことば) 横(よこ)濱(はま)市 友(とも)常(じょう) 甘(あま)酢(す) の(の)蘭(らん)に(に)安(やす)ら(ら)へ

鳥(とり)の(の)影(かげ)、お(お)も(も)か(か)げ(げ)は(は)矢(や)の(の)よ(よ)う(う)に(に)き(き)て(て)風(かぜ)に(に)崩(くずれ)れて(て)ゆく(く)ま(ま)で(で)抱(か)ぐ 東(とう)京(きょう) 碓(す)井(い)や(や)す(す)こ
△評(ひょう)▽鳥(とり)の(の)影(かげ)は(は)実(じつ)景(けい)あ(あ)る(る)い(い)は(は)「お(お)も(も)か(か)げ(げ)を(を)導(みちび)きた(た)す(す)た(た)め(め)の(の)言(こと)ば(ば)か(か)も(も)い(い)ず(す)れ(れ)に(に)せ(せ)よ(よ)う(う)の(の)語(こと)を(を)重(かさ)ね(ね)て(て)下(した)の(の)句(く)が(が)秀(うつく)逸(えい)だ(だ)。
白(しろ)光(ひかり)が(が)眼(まなこ)裏(うら)を(を)焼(や)く(く)病(びやう)室(しつ)に(に)故(こ)郷(きやう)の(の)訃(ふ)き(き)ま(ま)し(し)この(この)夜(よ) 土(と)佐(さ)市 関(せき)谷(や) 朋(とも)子(こ)
△評(ひょう)▽上(うへ)二(に)句(く)の(の)描(えが)き(き)が(が)鋭(えい)い(い)。降(ふ)誕(たん)祭(さい)の(の)夜(よ)の(の)孤(こ)独(ど)な(な)病(びやう)室(しつ)で(で)睡(ね)む(む)故(こ)郷(きやう)の(の)懐(なつか)し(し)さ(さ)を(を)お(お)め(め)で(で)た(た)う(う)と(と)ね(ね)ぎ(ぎ)ら(ら)ぶ(ぶ)国(くに)の(の)空(そら)々(々)し(し)さ(さ)被(おほ)爆(ばく)者(しや)補(おぎな)償(ご)を(を)拒(こ)み(み)続(つ)けて(て) 北(きた)広(ひろ)島(しま)市 富(とみ)丘(かみ) 治(ち)生(せい)
す(す)れ(れ)す(す)れ(れ)の(の)飛(と)行(こう)機(き)の(の)腹(はら)の(の)町(まち)の(の)海(うみ)陸(りく)風(かぜ)は(は)言(い)葉(ことば)を(を)ち(ち)ぎ(ぎ)る 東(とう)京(きょう) 夏(なつ)目(め) そ(そ)よ(よ)

も(も)う(う)何(なに)度(ど)私(わたし)を(を)救(すく)って(て)く(く)れた(た)だ(だ)ら(ら)う(う)母(はは)シ(シ)ョ(ョ) ー(ー)ト(ト)の(の)ほ(ほ)の(の)か(か)な(な)酸(す)味(あじ) 横(よこ)濱(はま)市 友(とも)常(じょう) 甘(あま)酢(す) 愛(あい)情(じやう)の(の)等(とう)価(か)交(こう)換(かん)求(もと)め(め)て(て)は(は)傷(やぶ)つ(つ)いて(て)る(る)罪(つみ)な(な)幼(わか)さ(さ) 奈(な)良(ら)市 久(く)保(ぼ) 祐(すけ)子(こ)
ひ(ひ)び(び)割(わ)れた(た)鏡(かがみ)に(に)映(うつ)る(る)お(お)ぼ(ぼ)る(る)げ(げ)な(な)人(ひと)生(せい)度(ど)目(め) の(の)ク(ク)ビ(ビ)宣(のたま)告(こ)
中(ちゆう)国(こく) 岸(き) 志(し)帆(ほ)莉(り)
助(すけ)て(て)か(か)ける(る)私(わたし)が(が)胸(むね)に(に)いて(て)す(す)つ(つ)と(と)鳴(な)り(り)止(と)まる(る) 黒(くろ)電話(でんわ) 東(とう)京(きょう) 石(いし)川(がわ) 真(ま)琴(こ)
錯(さく)綜(そう)する(る)情(じやう)報(ほう)の(の)中(ちゆう)で(で)目(め)を(を)閉(し)めて(て)私(わたし)の(の)か(か)た(た)ち(ち)の(の)間(ま)に(に)安(やす)ら(ら)へ 加(か)古(こ)川(がわ)市 山(やま)田(た) 麦(むぎ)
岬(さか)鼻(び)の(の)沖(おき)の(の)神(かみ)島(しま)冬(ふゆ)怒(いか)濤(たう)波(は)の(の)間(ま)に(に)漁(り)船(せん)の(の)揺(ゆ)る(る) 尾(お)張(は)旭(あ)市 小(こ)野(の) 薫(かほ)

投稿規

し、宛先は部、短歌は○先生(希)